

製品名: cPLA2- γ ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab09315**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	PLA2G4C
別名	PLA2G4C; Cytosolic phospholipase A2 gamma; cPLA2-gamma; Phospholipase A2 group IVC
遺伝子 ID	8605.0
SwissProt ID	Q9UP65
免疫原	抗血清はヒト PLA2G4C 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

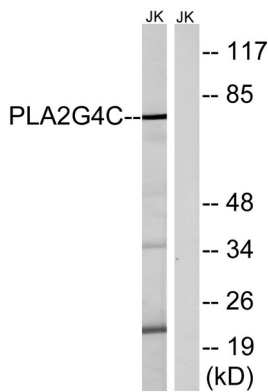
背景

この遺伝子は、グリセロリン脂質を加水分解して遊離脂肪酸とリゾリン脂質を生成するホスホリパーゼ A2 酵素ファミリーに属するタンパク質をコードしています。遊離脂肪酸とリゾリン脂質はどちらもシグナル分子の産生における前駆体として機能します。コード

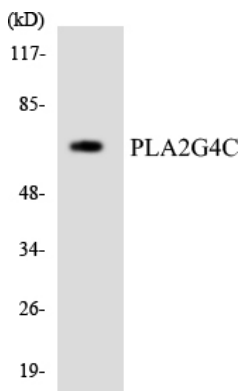
されているタンパク質は、カルシウム非依存性で膜結合型の酵素であることが示されています。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2009 年 4 月],触媒活性: ホスファチジルコリン + H₂O = 1-アシルグリセロホスホコリン + カルボン酸塩。酵素調節: カルシウムによる調節を受けない。機能: ホスファチジルコリンの sn-2 位にあるアラキドン酸は、パルミチン酸よりも優先される。類似性: PLA2c ドメインを 1 つ含む。組織特異性: 心臓と骨格筋で高発現。

研究分野

画像データ



PLA2G4C 抗体を用いた Jurkat 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



PLA2G4C 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。